

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」、「外国人観光客数」及び「宿泊者数」について、概ね目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	可	■ 「ガイド人数」について、目標を達成している。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(１) 組織整備	個別評価	可	■ 民間団体との協力体制の構築、ふるさと納税額の確保や組織整備のための研修事業やワークショップなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(２) 戦略立案	個別評価	可	■ 日本遺産候補地域としての知名度が一定程度あり、構成文化財をはじめとする地域資源調査や、来訪者向けニーズ調査など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(３) 人材育成	個別評価	可	■ 有償ガイドの育成や鋸山ガイドセンターの設立など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(４) 整備	個別評価	不可	■ サイン・案内看板の設置や、キャッシュレス決済の試験導入など、整備に向けた基礎的な取組が行われているものの、日本遺産ストーリーの体験につながる整備の更なる充実が望まれる。
(５) 観光事業化	個別評価	可	■ 民間事業者と連携した「鋸山ナイトツアー」や「鋸山と富津・鋸南の歴史を辿る特別クルーズ」の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(６) 普及啓発	個別評価	可	■ 域内小中学校を対象とした「鋸山の教室」の開催や、域内事業者によるイベント開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(７) 情報編集・発信	個別評価	可	■ ガイドブックの作成、ホームページやSNSを活用した情報発信の取組など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	■ 全体として、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
① ストーリーの内容が、当該地域の際立った歴史的 特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅 力を十分に伝えるものとなっていること	■ 観光資源は豊かではあるが、日本遺産ストーリーとして宗教と石切産業の関連性をより明確にすることが望まれる。
② 日本遺産という資源を活かした地域づくりについ ての将来像（ビジョン）と、その実現に向けた日 本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に 示されていること	■ 地域の目指す将来像（ビジョン）のさらなる明確化が望まれる。 ■ これまでの事業分析や課題抽出を踏まえた日本遺産としての取組の具体化が望まれる。
③ ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信 など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能 となる体制が整備されると見込まれること	■ 民間団体や事業者との連携が一定程度できているが、地域プロデューサーの確保・育成や、民間事業者との更なる連携強化が望まれる。 ■ 構成自治体間の連携をさらに強化することが望まれる。
総合評価	■ 日本遺産を活用して実現したいビジョンをより明確にしたうえで、構成文化財や地域の特色を生かした取組をさらに強化することが望まれる。 ■ 民間事業者や構成自治体間での連携を強化するとともに、地域プロデューサーの確保・育成に向けた取組の促進が望まれる。
評価結果	候補地域として認定継続

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 観光入込み客数について、目標を達成していない。 ■ 外国人観光客数について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 地域の文化に誇りを感じる住民の割合について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 日本遺産関連で開発された商品・サービス数について、目標を達成している。 ■ 日本遺産認定に向けた取組への協力者数について、目標を達成していない。
(4) その他	不可	■ 担い手の人数について、目標を達成していない。
総合評価	可	■ 全体としては概ね目標を達成している。

総括評価

Ⅱ．取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(１) 組織整備	個別評価	可	■ おおきに財団友の会の会員募集や五花街共同の舞踊公演の実施等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(２) 戦略立案	個別評価	可	■ 新たに花街商品を開発する際に実施したマーケティング調査を基に販売を実施しており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(３) 人材育成	個別評価	不可	■ 芸妓舞妓の人材育成の取組に留まっており、地域プロデューサーの育成等の取組が行われておらず、人材育成に必要な取組が実施できていない。
(４) 整備	個別評価	可	■ 歌舞練場等の受入環境整備を行うことで、各花街が実施する舞踊公演の入場者数が一定あることから、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(５) 観光事業化	個別評価	可	■ 北野天満宮でのスタンプラリー実施やインバウンド向けの非公開文化財特別体験等の実施も含め、新規旅行プランを利用した観光客が一定おり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(６) 普及啓発	個別評価	不可	■ 修学旅行生向けのマンガやマップ制作・体験学習に加え、親子向けの花街文化を学ぶ教室等を実施しているが、体験した生徒数や開催したイベント数の全容を掴めていない状況であり、加えて地域住民に向けた取組も限定的なことから、普及啓発に必要な取組が実施できていない。
(７) 情報編集・発信	個別評価	不可	■ 五花街のホームページの多言語化やチケット販売等を実施しているが、ネイティブにとって分からない英語表記になっている等、情報編集・発信に必要な取組が実施できていない。
総合評価		可	■ 全体として日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価理由
① ストーリーの内容が、当該地域の際立った歴史的 特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅 力を十分に伝えるものとなっていること	■ 記載されているストーリーは花街の説明に終始しており、京都の現状を紹介している感じが強く、日本遺産に認定する意義を感じづらい。また「おもてなし文化」という用語が花街の歴史・文化をきちんと反映しているか疑問が存在する。例えば厳しい時代に女性が自立して生きていた誇り等をサブストーリーで触れる等、より外部の方に伝わり、かつ日本遺産として意義がある内容を検討することが望まれる。
② 日本遺産という資源を活かした地域づくりについ ての将来像（ビジョン）と、その実現に向けた日 本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に 示されていること	■ 花街の振興策についてのビジョンが明示的である点は評価できる。一方で、活用計画・事業が花街に特化されているように見受けられるため、地域全体が活性化することを目指したビジョン、取組内容を実施することが望ましい。
③ ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信 など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能 となる体制が整備されると見込まれること	■ 事業の推進体制が従来の体制を踏襲し花街と関係者に限定されているように見受けられるため、一般の民間企業の参入を促し、自走・好循環を生み出し、今後の活動の発展が期待できる体制を構築することが望ましい。
総合評価	■ 花街の振興のみを考えた計画となっており日本遺産としての活動が検討されていないため、花街を核としながらも地域全体の展開を踏まえた計画・組織を作ることが望ましい。
評価結果	候補地域として認定継続